

さいがい 仙台の自然災害年表・復興年表
ふっこう

年	種別	できごと *Mはマグニチュード
平安 869年(貞観11)	地震	大地震(三陸沖)。津波でおよそ1,000人がなくなる。
1611年(慶長16)	地震	大地震(三陸沖)。津波により1783人死亡。「浪分神社」のほか、「念仏田」「波風」などの地名に言い伝えが残る。
1616年(元和2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0)により, 仙台城の櫓, 石垣がくずれる。
1623年(元和9)	噴火	蔵王山噴火。伊達政宗の七男(宗高)が, 噴火をしずめるために刈田岳に登っている。
江戸 1678年(延宝6)	地震	大地震(宮城県沖, M7.5)により, 東照宮などがこわれる。
1717年(享保2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.5)により, 仙台城の石垣がくずれる。
1721年(享保6)	水害	大雨のため, 市内四か所で橋が落ちる。
1747年(延享4)	水害	大風, 大雨のため, 澱橋と中瀬橋が流される。
戸 1793年(寛政5)	地震	大地震(三陸沖, M8.0~8.4)。蒲生地区を津波がおそったという言い伝えがある。
1812年(文化9)	水害	大雨大洪水。死者116人。
1835年(天保6)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0)。仙台城の石垣がくずれる。
	水害	大雨大洪水。大橋落ちる。民家2,416戸流失。
1855年(安政2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0~M7.5)。
1861年(文久1)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4)。
1889年(明治22)	水害	大洪水。根白石村で大きな被害。
明治 1896年(明治29)	地震	大地震(三陸沖, M8.2)。蒲生にも津波が来る。
1897年(明治30)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4)。
1910年(明治43)	水害	台風による大雨で市内約1,300戸が浸水。

年	種別	できごと *Mはマグニチュード
大正 1923年(大正12)	地震	関東大震災発生。この後, 震災の避難民のために, 現在の文化町に住宅が建設される。
1933年(昭和8)	地震	昭和三陸地震(三陸沖, M8.1)。
1936年(昭和11)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4~7.7)。
1947年(昭和22)	水害	カスリン台風。県内約30,000戸に被害が出る。
昭 1948年(昭和23)	水害	アイオン台風。市内約3,000戸に被害が出る。
1950年(昭和25)	水害	台風11号による大洪水で堤防が決壊。市内5,000戸以上に被害。
和 1978年(昭和53)	地震	宮城県沖地震(M7.4)。県内死者27人。負傷者約10,000人。
1986年(昭和61)	水害	台風10号による大雨(8.5豪雨)。被害住家約5,500棟。
平成 2003年(平成15)	地震	大地震(宮城県沖, M7.1)。
2005年(平成17)	地震	大地震(宮城県沖, M7.2)。
2011年(平成23)	地震	3月11日, 14時46分, 東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)。津波による大きな被害。3月12日, 福島第一原子力発電所で爆発事故発生。
	地震	4月7日, 大きな余震発生(宮城県沖, M7.2)。 4月11日, 学校再開。 4月18日, 簡易給食開始。 4月29日, 地下鉄全線開通。 7月31日, 全避難所閉所。
(復興への歩みを書きましょう。)		
平成24年		
平成25年		
平成26年		
平成27年		